

服用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。



胃の痛み・もたれ、胃炎に〈微粒〉

大正胃腸薬K

第2類医薬品

〈胃腸薬〉

◆大正胃腸薬Kは、芍薬甘草湯エキス末と、安中散を配合した胃腸薬です。

◆これらの2種類の処方を含めた大正胃腸薬Kは、胃の痛みや胃もたれ、胃炎をはじめとする胃腸の諸症状の改善に効果があります。



使用上の注意



相談すること



1 次の人は服用前に医師、薬剤師 又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 高齢者。
- (3) 次の症状のある人。
むくみ
- (4) 次の診断を受けた人。
高血圧、腎臓病、心臓病

2 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の 可能性があるため、直ちに服用を中止し、この 説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に 相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は 服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師 又は登録販売者に相談してください

4 長期連用する場合は医師、薬剤師又は登録販売者 に相談してください

効能

胃痛、胃のもたれ、胃炎、胃部不快感、
食欲不振、げっぷ、腹痛、胸やけ、はきけ、
胃酸過多、腹部膨満感

こんな時に



胃痛、胃炎





胃のもたれ、
胃部不快感



食欲不振、
げっぷ

用法・用量

次の量を食前又は食間に水又はぬるま湯で
服用してください。

年齢	1回量	服用回数
15才以上	1包 	1日3回
5~14才	1/2包 	
5才未満	服用しないこと	

【注意】

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

食間の服用は、食事の後2~3時間を目安にします

成 分

1包(1.2g)中

成 分	分量	はたらき
安中散 (下記生薬の混合粉末) ケイヒ(桂皮) エンゴサク(延胡索) ボレイ(牡蠣) ウイキョウ(茴香) シュクシャ(縮砂) カンゾウ(甘草) リョウキョウ(良姜)	700mg 200mg 150mg 150mg 75mg 50mg 50mg 25mg	衰えた胃腸のはたらきを活発にする作用があり、胃のもたれ、 胃部不快感、胃炎等の症状を改善します。
芍薬甘草湯エキス末 (下記生薬の抽出乾燥エキス末) シャクヤク(芍薬) カンゾウ(甘草)	170mg 340mg 340mg	胃腸の筋肉の異常な緊張をやわらげる作用があり、胃痛や 腹痛等をしずめます。

添加物：無水ケイ酸、バレিশヨデンブ、乳糖、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク

[注意] 本剤は、生薬を用いた製剤ですから、製品により色が多少異なることがありますが、効果には変わりありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



治療のポイント

本剤を服用されるほか、日常生活でも次の点にご注意ください。



暴飲暴食に注意し、
三度の食事を規則正しくとり、
生活リズムを一定に保ちましょう。



タバコ、アルコール類、
コーヒー等の嗜好品を
取りすぎないように
しましょう。



現代の複雑な社会では
ストレスはさけられませんが、
ストレスをため込まないよう
上手な解消法を見つけましょう。



規則正しい生活を心がけ
ましょう。夜ふかしや睡眠
不足は胃を荒らす原因に
なります。

この製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店
又は下記にお願い申し上げます。

連絡先 大正製薬株式会社 お客様119番室

電話 03-3985-1800

受付時間 8:30~21:00(土、日、祝日を除く)



大正製薬株式会社

東京都豊島区高田3丁目24番1号
<http://www.taisho.co.jp>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話：0120-149-931(フリーダイヤル)